

第1弾

MTDLPとは？

OT推進チーム

MTDLPとは？

生活行為向上マネジメント

Management tool for daily life performanceの略



生活行為向上マネジメントのシンボルマーク

人は作業をすることで元気になれる

https://www.jaot.or.jp/mtdlp/whats/potential_power/

MTDLPが作られた理由は？

- 国民にわかりやすく作業療法の形を示すために作成
 - ⇒ 作業療法士の包括的な思考過程をわかりやすく表す
 - ⇒ **作業療法の見える化**
- 対象者の 24 時間 365 日をイメージしつつ、本人のしたい生活行為に行動計画の焦点があたるよう設計
 - ⇒ 作業療法士の**マネジメント力向上**

現在のリハ職(OT)に求められているものは？

- 「対象者の**意向や思いに沿いながら**、対象者が抱える生活課題を、**多職種協働を通じて解決すること**」
- 多職種とは、専門職だけでなく**対象者本人・家族・対象者の生活機能に影響を与える関係者(親戚や近隣住民等)**も含まれる

生活行為とは？

- 人が生きていく上で営まれる生活全般の行為
- セルフケアを維持していくためのADL、生活を維持するIADL、仕事や趣味、余暇活動などの行為すべて
- 毎日は生活行為の連続で成り立ち、そのサイクルの中で、私たちは健康を維持・増進している

生活行為の継続性と地域での可能性について

長期的な生活の見通し

⑧

活動から参加へ ⑦ 新たな生活行為へ

⑥

習慣化

地域へ

⑤

対象者の「したい～」のために「24時間365日」の道筋（生活行為の連続をイメージしそれを対象者と共有する

④

繰り返し
積み重ねられ

24時間

1つの生活行為から

①

②

③

他の生活行為へ

生活行為の障害によって？

- 心身機能の低下や生活上の悪習慣、対人関係の悪化、生活環境の変化などによって、その**遂行が障害**される
- 生活行為の障害は、**社会参加の制限**から始まり、**IADL、セルフケアの制限へと波及**していく
- 生活行為の障害は、作業有能性を低下させ、**生活範囲の狭小化や生活意欲の低下**を招く

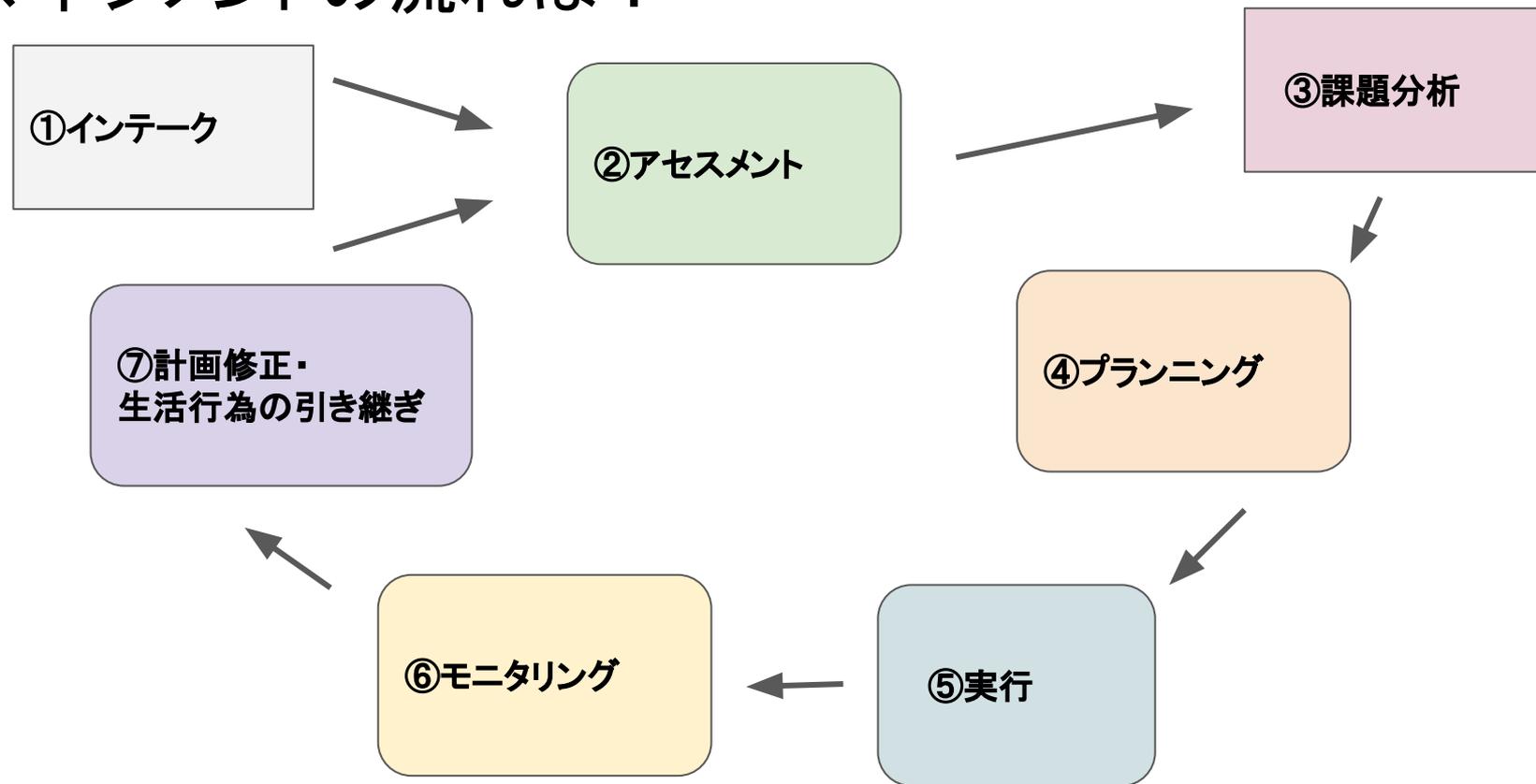
マネジメントとは？

- 単に「管理」という意味合いではない
- 対象者が抱えている**生活課題を解決すること**
- 対象者がしたいことを聞き取り、推察しながら、達成したい目標を**一緒に達成していくこと**

つまり…

「生活行為の向上」と「それに取り組む組織としての成果」 両方を
マネジメントする必要がある！！

マネジメントの流れは？



流れをもう少し詳しく

① インテーク	対象者がどのような生活行為を向上したいかを把握
② アセスメント	生活行為が困難となっている要因や強みを評価・分析し予後予測
③ 課題分析	解決すべき課題の抽出と設定をする
④ プランニング	改善のための計画を立てる
⑤ 実行	実際に支援する
⑥ モニタリング	効果を評価して次の改善プランを計画する
⑦ 計画修正・ 生活行為の引き継ぎ	計画を見直して修正し、次の担当者に引き継ぐ

MTDLPを用いることで⇒切れ目のない支援を！！

- マニュアルとツールを活用し自身のOTとしての**トレーニング** ⇒対象者と目標を**共有**、対象者が自分の回復に積極的に関与、**適切なOT**提供
- 心身機能の側面から理解するのみでなく、「生活をする人」として**包括的に捉える視点**
- 一貫した対象者の生活を理解し支援するという**包括的アプローチの視点**
- 地域環境やサービス課題の抽出、課題解決策の提案、解決に向けた実践など、**地域課題のマネジメントを検討するきっかけ**を提供

今回は以上になります

次回のテーマは「MTDLPを使ってみよう」

【参考・引用資料】

- ①生活行為向上マネジメントパンフレット
- ②日本作業療法士協会 事例報告書作成の手引き(生活行為向上マネジメント)
- ③日本作業療法協会ホームページ <https://www.jaot.or.jp/> 2022/06/01